

# 危険な煙突の撤去を

## 市の責任で早期に実施

増富 理津子 議員(共産党)

国保税、介護保険料などの負担増を含めると、数倍、10数倍にのぼる負担が市民におそいかかっている。

増税の影響による市民負担を軽減する施策の拡充について、厚生労働省は「高齢者については身体障害者手帳の交付を受けている者のほか、身体障害者に準ずる者として市町村長の認定を受けている者を障害者控除の対象とする」としているが、京田辺市の基準は、厚生労働省の基準よりハードルが高い。認定基準を見直し、すべての要介護認定者に「障害者控除対象

① 昨年より定率減税が半減されたことによる所得税、住民税の増税により、高齢者を中心に約2万3千人が影響をうけ

建設部長 基本構想作成計画についての必要性は認識している。他の市町の動向も見ながら研究していく。

② 安心歩行エリアにおける安全対策の実施計画と新田辺駅周辺のバリアフリー化の具体的な計画について、またバリアフリー新法に基づく基本構想作成計画の取り組みの進展は。

③ 府営団地に隣接する廃業された銭湯の煙突が老朽化して、たいへん危険な状態になっている。市の責任で早期に撤去



崩壊の危険性がある銭湯の煙突(河原)

# 手原川に歩道橋設置を

## 京都府と協議を進める

塩貝 建夫 議員(共産党)

① 手原川堤防上の通学・通園は大変危険である。市長は2月2日京田辺子ども会議で新小6年生学習発表会で子どもの質問に答えて「手原川のいい位置に橋をつけて、車が通る橋ではなく、人や車いすが行き交う幅の橋をつくって、安全確保をしたいと考えている。」と答弁した。この発言通り、徒歩橋を設置せよ。

市長 可能な限り積極的に話を進めて、早い時期に望ましい橋ができたらいと思つ。建設部長 河川管理者である京都府と協議するため調査を実施し、平成19年度から早い機会に府と協議したい。② 全国一斉学力テストが4月24日に実施される。市はなぜこのテストに参加するのか、その理由を



通学、通園時の安全確保が必要な手原川側道(薪)

示せ。また、テスト結果を民間企業に丸投げするため個人情報保護人権プライバシーの点で問題がある。教育長の認識を

教育長 今回のテストはあくまでその子ども個人個人の学力なり学習状況を把握して今後の指導に生かすことが目的である。テストへの名前の記入について、保護者、児童、生徒にテストの趣旨を説明し「理解を得たい。それでも名前は書きませ

んと言われたら強制することは一切考えていない。③ 一休寺の景観保全について7回連続質問した。第3次総合計画にも都市景観を保全するため規制誘導すると市は決定している。早急に行うべきである。建設部長 総合計画において、「景観法を導入して」という文言があり、今後出来るだけ早期に景観法導入に向けての準備を進めたい。④ 青年雇用を促進するため、市長の認識と、市が出来ることを検討せよ。市長 安心して働ける環境整備は重要。地元雇用の促進や、市としてできることを研究したい。

# 市民参画条例の制定を

## 今年度中に検討する

橋 雄介 議員(21市民の眼)

① 市民参画条例の制定と公正な行政運営を、地方分権による主体的な市民自治を進めるべき。ニューパブリックマネジメントといわれる自治体経営の手法を。(仮称)開発まちづくり条例は手続き条例とし、別途、住民参画条例の制定が必要。入札談合防止策と同和優遇策の廃止を。建設部長 開発まちづくり条例は、今年度中に

制定。地域業者に対する扱いは年度中に廃止する。市民部長 市民参画条例は、幅広い議論で制定へ進めたい。② 行政改革による歳出削減などが一向に進んでいない。職員の給与、手当の削減などを、いつ行うのか。地域手当、特殊勤務手当等、職員の既得権の手当を削減せよ。市長など特別職の賞与の勤

勉手当、役職加算の廃止を。建設部長 人事院勧告を尊重し、是正を図り、特殊勤務手当は精査する。



市民による環境パートナーシップでのワークショップ

特別職等の報酬見直しの時期と認識している。③ 違法建築の指導強化と増改築による固定資産税課税の徹底を。宝塚のカラオケ店火災死亡事故の教訓から、消防が避難通路・器具等の実態調査を。違法営業店舗に特別罰則課税を。

消防長 違法建築物の消防防災上の査察や改善指導は行つ。不備な点は改善を指示し、書類を提出させる。④ 市民要望に応えた優先策と社会的弱者への支援を。市政協力員制度の見直し、市民パートナー委員会の設置。一丁田池屋根付体育施設は財政的に断念せよ。

教育部長 一丁田池整備は、財政と地盤の安定がなければ、全天候型施設整備を行う。保健福祉部長 障害者自立支援法による、利用者負担削減などの支援とケアホームは可能な支援を行う。市民部長 バイブ役として、現制度を継続。

# 山手東地域に信号を

## 今後も府へ要望する

青木 綱次郎 議員(共産党)



信号機設置が望まれる交差点(山手東)

① 地震・防災対策の強化として② 国・府に対して、本市への東南海・南海地震防災対策推進地域

の指定と、国による財政支援を求めよ。① 住宅耐震改修助成制度の早急な導入を。② 木津川以外の市内河川等の増水・氾濫を想定したハザードマップの作成を。③ 住民避難

体的なマニュアルの作成、整備を。安心まちづくり室長 京都府独自の、地震被害想定調査結果を見て必要な場合、指定を要望する。④ 市内河川の、府の浸水想定調査のデータに

基づきハザードマップ改定を進める。⑤ 避難基準の客観化は重要。19年度に具体的な基準を作成する。建設部長 ① 19年度中に耐震改修促進計画を作成し、20年度から耐震改修助成を実施したい。② 市ホームページのアクセス状況は、運営についての市の基本方針は。総務部長 毎月5万件近いアクセスがある。助役 市民が欲しい情報とはどういったものかという視点で作っていくことが原則。今後の課題として取り組む。③ 高齢者インフルエンザ予防接種事業において、年金課税強化のため

に自己負担金免除者(住民税非課税)の数が、本年度は二百人近くも激減した。少なくとも前年度と同水準の方が自己負担免除となるように、免除基準を見直し。助役 国のやったことの影響を自治体が対応することはできない。基準を見直す考えはない。④ 山手東地域のファイブパーク前の2カ所の交差点と諏訪ヶ原公園前三差路に、信号機の設置を。安心まちづくり室長 ファインパーク前の2交差点の信号設置は従来から府へ要望してきた。今後は諏訪ヶ原公園前もあわせて要望していく。